

戦略WG（第1回）における主なご意見（事務局作成メモ）

- 研究開発の重点課題の抽出の視点を、技術シーズではなく、ニーズ・デマンドへと転換する必要があるのではないかと。
 - ・ 研究の初期から実際の利用を意識するというやり方へシフトすべきではないか。
 - ・ 消費者の将来のニーズ・デマンドを把握するのは、現実には困難ではないか。
 - ・ ターゲットの絞り込みや、仮説設計など、ニーズ・デマンドをある程度把握する手法もあるのではないかと。
 - ・ 我が国のニーズ・デマンドは成熟段階に来ていることにも留意が必要ではないか。
 - ・ 政策的観点からのトップダウン的なニーズ・デマンド設定もあり得るのではないかと。
 - ・ ニーズ指向は大事だが、基礎的・基盤的技術の強化にも並行して取り組むべきではないかと。

- R&Dにはリスクがつきものであり、失敗を許容する文化が必要ではないかと。

- これからのR&Dは一社あるいは一国単独での対応は困難であり、オープンイノベーションの中でいかにWin-Winの関係を樹立できるかがポイントではないかと。また、ユーザーなど様々なステークホルダーに参加してもらうことが必要ではないかと。

- 成果の国際展開の方法として、国内で成功した製品を海外に売り込むのは困難である。R&D、市場導入、量産を1パッケージで扱い、早い段階から国際連携に取り組むことが必要ではないかと。

- 研究開発の推進方策は、研究開発課題によって異なるのではないかと。

- 産学官連携の中で、「学」の役割・位置づけを明確にする必要があるのではないかと。
 - ・ 独創的研究が期待されるのではないかと。
 - ・ 利害に左右されないニュートラルリティや研究内容の多様性が特徴ではないかと。
 - ・ それらの役割を果たすには、競争的資金だけでなく基盤的資金も必要ではないかと。

- 日本は他国と比べ、ITリテラシーが低いのではないかと。

- NICTのプロジェクトマネジメントについて、改善すべきところがあるのではないかと。